



謹賀新年

折茂理事長、谷口施設長、デイケアおよびリハビリスタッフ

それいゆ 広報

Vol.109

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ
TEL0577-37-3360
- 病児保育室 プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ
TEL0577-35-0710
- デイサービスセンター べれる
TEL0577-36-7077

新年あけましておめでとうございます。今年一年皆様にとって良い年でありませうお祈り申し上げます。

我が国の六十五歳以上の高齢者人口は、二〇一〇年に全人口の二十三%となり世界で最も早く超高齢社会に突入しています。二〇一二年九月十五日の時点で百歳以上の高齢者が前年比三六二〇人増の五万一千七六六人となり、四十二年連続で過去最多を更新しています。人口の高齢化は今後五十年はさらに進行し、高齢化率は二〇六〇年には三九・九%に達すると推定されています。二〇一五年には高齢者人口が約三五〇〇万人になると推定され、高齢世帯が約一七〇〇万、このうち独居世帯が五七〇万世帯になると予測されています。

人口の高齢化が進行すると、単身、あるいは高齢者夫婦などの介護や医療を支援する能力のない世帯が増加します。高齢化に対処するため二〇〇〇年に介護保険制度が作られ介護保険関係の福祉施設が整備されましたが、全高齢者の三・五%しか利用できません。昨年までは多種多様な名称の高齢者住宅がありました。あまりにも複雑で、自分に合う高齢者住宅を選択することが困難でした。昨年四月の改正で「サービス付高齢者向け住宅」という名称に統一されました。一定の面積・設備が確保され、一定のバリアフリー化が実施され、緊急時対応や安否確認、生活相談、日中の常駐サービスが提供されることとなっています。

現実には高齢者が安心して暮らせるためには、介護予防から在宅看取りまでを展望した複合施設が必要で

新年を迎えて

医療法人同仁会
理事長 折茂 謙一



設が必要で、そのためには医療、介護、予防、生活支援、住まい、五本の柱があつてはじめていつまでも安心して暮らせれます。現在、年間の死亡者数は約一〇万人とされています。そのうち八十%以上の方が病院で亡くなっています。医療費赤字削減のため、病院では在院日数を短くする体制を進めています。慢性期や終末期の病態の患者さんたちは、病院で診る必要がない対象となります。この結果、病院外へ出された慢性期や終末期の高齢者を受け入れる場所の確保も必要です。「サービス付高齢者向け住宅」がどんどん新設されても十分な解決策にはなりません。

私も健康な高齢者が歩いて暮らせる場所に、そして介護予防や医療が必要になった場合には、二十四時間三百六十五日安心して介護予防から終末期まで任せる事ができる複合施設、「レザミひだ」を昭和町二丁目に作りました。人口減少が進む超高齢化社会になくしてはならない先進的施設であると思います。高齢者の社会的孤立を解消して、歩いて暮らせるまちなか機能の役割も果たせたいと思います。更に、飛騨で唯一の病児保育施設が併設されているのは、折茂佑子代表の女性ならではの発想であります。多世代交流を視野においた一つのモデルになると思います。

私ども、「医療法人同仁会」と「株式会社レザミひだ」は、皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせる医療・介護・福祉の環境づくりと心通うサービス提供をモットーに連携して努めて参ります。本年もよろしくお願ひ致します。

感染予防と対策

介護現場における感染対策

標準的な予防策

介護の現場では…

- ① 「1ケア1手洗い」の徹底
 - ② 入所者の異常を早期発見するための観察
 - ③ 汚染物（血液・体液・排泄物）の適切な処理
- をしっかりと行うことが、感染症予防の基本



血液・体液・排泄物を処理するときは…

- 手袋を着用し、飛び散るおそれがあるときはマスク、プラスチックエプロンを着用する。
- 手袋をはずしたら、石けんと流水により手洗いをする。

▶ 手洗いの注意事項

- 時計や指輪をはずす。
- 必ずはじめに流水で軽く洗う。
- 複数の人が触れる固形石けんではなく、液体石けんを使う。
- 雑になりやすい部位は、注意して洗う。
- 使い捨てのペーパータオルを使用する。
- 水道栓は洗った手で止めるのではなく、手を拭いたペーパータオルで止める。
- 洗った後は、手を完全に乾燥させる。

▶ 手洗いの順序



① 手のひらを合わせ、よく洗う。



② 手の甲を伸ばすように洗う。



③ 指先、爪の間をよく洗う。



④ 指の間を十分に洗う。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も洗う。



● 水道の栓は、手首が割で止める。できないときは、ペーパータオルを使用して止める。センサー式の水道が好ましい。



梶田美里

・ショートステイそれいゆ
介護福祉士
村川ノエ子

・介護老人保健施設それいゆ
通所室准看護師

昨年末で勤続十年を迎えた職員二名の特別表彰が、十二月二十日ひだホテルプラザにて行われ、理事長より感謝状と記念品目録が贈呈されました。

勤続十年表彰

感染対策委員会

毎年十一月から大流行する感染症といえば、一般的にインフルエンザ・ノロウイルス感染症のふたつで、今年はノロウイルス感染症が去年の十一月より大流行しており、テレビ・新聞にと毎日報道されています。

それいゆでは、この時期は感染対策委員会の活動を強化し、『持ち込まない・拡げない・持ち出さない』の徹底を図っています。職員はもちろん、面会者の方の手洗い励行、手指消毒、マスク着用、

また、咳や下痢などの症状のある方の面会制限にご協力いただいています。

職員教育として、毎年勉強会を開催しマニュアルに基づいた実演を行い、更に吐物処理マニュアルがスムーズに実施できるよう各フロアにて実践しています。職員全員が一致となり、迷わず・慌てず・素早く処理対応ができるよう、常に意識づけをしています。お陰様で現在利用者様、スタッフには感染率はありませんが、日々早期発見に努め、今後も介護・看護マニュアルを視覚化するなど予防体制の整備をしていきます。

施設へ入棟される方へお願い

● 外出から戻られた際、御面会の方など、入棟される際には1階リハビリ室手前にある職員お手洗いと、お風呂横の洗面所にて「うがい・手洗い」をお願いいたします。

また受付前には手指消毒器とマスクが置いてありますので、ご利用ください。

● 体調不良の方、ご家族にインフルエンザ等の感染者がいる場合には、洗濯物の受け渡しを事務室にて行っております。お気軽に声をおかけください。

通所リハビリテーションの紹介

介護長 柚原 一仁

新年明けましておめでとうございます。本年も昨年同様ご愛顧いただきますよう、お願い申し上げます。

それいゆは平成九年八月の開所ですが、私は平成十一年四月利用者数二名から十四年が過ぎようとしています。おかげさまで月の利用者数は、百三十名あまりとなり、慌ただしさは隠し切れませんが、職員一同笑顔だけは絶やさぬよう心がけ、利用者様がそれいゆへ行きたくなるような環境ができるよう努力しております。

開所当時と大きく変わったのは療法士の増加に伴い、リハビリの種類・内容が増えたことです。利用者様の尊厳ある自立を達成するために、その方の身体機能や精神機能、認知機能を評価し、それぞれに適したリハビリを提供し、各機能の向上、若しくは低下防止に努め、その方の生活者の視点を見失うことなく、その人らしい暮らし(生活期)が送れるように日々関わらせていただいています。

また、今年のそれいゆ通所リハビリでは、長年築き上げたりハビリの成果を、どんな形になるかわかりませんが、公表していきたいと思っております。同業者の大会では何回かの発表の場がありますが、是非、ご家族様、ケアマネージャー様に紹介できればと思っています。その折にはよろしく申し上げます。



平成25年1月 レクリエーション予定表

日	曜	弁天様	布袋様	恵比寿様	文化クラブ
1日	火				
2日	水	お正月			
3日	木				
4日	金	新春!!歌祭り♪			
5日	土				
6日	日				
7日	月	歌祭り ~楽器でポン♪~			
8日	火				書道
9日	水				書道
10日	木				書道
11日	金	法話 ~了因寺~			
12日	土				
13日	日				
14日	月	コーラス訪問♪			
15日	火	おやつ作り & トンネルくぐり			俳句
16日	水	歌祭り ~楽器でポン♪~			
17日	木	とんとこ相撲 ~1月場所~			
18日	金	みんなでカラオケ♪			押し花
19日	土				
20日	日				
21日	月	ビンゴゲーム			
22日	火	シェルブル♪			
23日	水	とんとこ相撲 ~1月場所~			
24日	木	お面作り♪			
25日	金	棒サッカー & 新聞読み			
26日	土				
27日	日				
28日	月	1月生まれの誕生会♪			
29日	火	1月生まれの誕生会♪			書道
30日	水	1月生まれの誕生会♪			
31日	木	お茶会 & トンネルくぐり			

1日の流れ

9:00	来所 うがい・手洗い・健康チェック リハビリテーション 入浴・レクリエーション
11:45	嚥下体操(食事前の体操)
12:00	昼食 口腔ケア(うがい・義歯洗浄)
12:45	くつろぎタイム
14:00	体操 団体レクリエーション
15:00	おやつ
15:45	帰宅バス出発



生時記



●●●●● それいゆ文化祭 ●●●●●

11月20日～27日までそれいゆ一階相談コーナーにはたくさんの作品が展示されました。
今年の文化祭は各フロアの作品紹介と、毎月2回行われている書道教室の金子晴美先生が参加され、
作品のご案内と講評をいただきました。
今年も素晴らしいたくさんの作品に出会う事ができました。



3階入所者の作品紹介



デイケア利用者の作品紹介



2階入所者の作品紹介



4階入所者による「森の水車」で歌と体操



飛騨高山高生 慰問

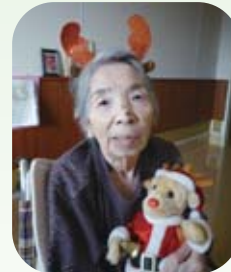
12月13日、飛騨高山高校の生活文化科3年生の「家庭看護・福祉」選択者29名がいらっしゃいました。ハンドベルの演奏とクリスマスソングの歌の発表、最後には一枚一枚手作りされたクリスマスカードを学生さんから手渡しでプレゼントしていただきました。ありがとうございました。



クリスマス会



12月25日には毎月歌とフルートとピアノの演奏をしてくださるシェルブルさんがたくさんのクリスマスソングを演奏してくれ、利用者様は鈴を鳴らしたりと綺麗な音色が一階フロアに響き渡りました。また、各フロアではそれぞれクリスマス会が行われました。



10月16日から3日間、それいゆのお風呂ではイベント入浴のりんご湯が開催されました。たくさんのりんごがお湯に浮かび、いつもと違ったお風呂にゆったりつかって心も体も温まりました。



餅つき大会

1月14日、清見の「コーラスかわせみ」の皆さんが歌を披露してくださいました。「翼をください」や「東京物語」という、昭和初期の物語の中に歌が入ったものなど全部で5曲ほど歌って下さいました。



12月28日、それいゆ餅つき大会が開催されました。「よいしょ」の掛け声に合わせて杵を力いっぱいふってお餅をつきました。その後は各フロアへ戻り、皆で花餅造りです。みんなで輪になって今年も立派な花餅が出来上がりました。



それいゆ 訪問看護ステーション

訪問作業療法士 井畑 珠実

新年あけましておめでとございます。
それいゆ訪問看護ステーションをご利用いただきありがとうございます。

さて、訪問看護ステーションにリハビリ部門が開設されて二年半が経過しようとしています。今までにたくさんの方々にご利用いただき、心から感謝申し上げます。

リハビリ部門には現在、理学療法士一名と、私、作業療法士一名の計二名所属しており、ご利用者様やご家族様が少しでも安心・安全・安楽に在宅生活できるよう、お手伝いさせて頂いています。

訪問では、リハビリをするだけでなく、介助方法の指導や福祉用具・住宅改修の相談も行っております。

今後ともご利用者様やご家族様のご期待にそえるよう、邁進していきたいと思っております。本年もよろしくお願致します。



ヘルパーステーション それいゆ

管理者 寺田 光江

新年あけましておめでとございます。
日頃は、ヘルパーステーションそれいゆをご利用いただきましてありがとうございます。業務は順調に推移しており、これも皆様のお陰と感謝申し上げます。

ヘルパーステーションそれいゆは開設して五年目を迎えるようになっていますが、この節目の年に職員一同、皆様に喜んで頂ける質の高いケアを目指してスキルアップしているところでございます。

日々皆様に喜んで頂ける質の高いケアとは、どのような事を行えば良いか、過去の経験の中から改善する点はないか、一つ一つの具体的に問題を抽出して改善し、全ての職員がそれを共有化し実践していくことで、質の高いケアを行っていくことができると考えています。もちろんケアをご利用していただくご利用者様、そしてケアをさせていただくヘルパーが共に満足の行くケアが必要と考えています。

質の高いケアを成し得るには、やはりお互いの信頼関係と技術の向上が大切と考えています。そのためには、ご利用者様からの色々な要望がございましたら、どのような事でも結構です。ケアマネージャーもしくはヘルパーステーションそれいゆにご相談して頂きたく思います。

皆様にヘルパーステーションそれいゆを利用して良かったと、心から喜んで頂けるケアを目指して行きたいと思っております。



折茂医院

看護師長 三尾 浩美

皆様には、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年はノーベル賞を受賞した山中教授のIPS細胞や、再生医療など夢のような医療が注目を集めました。そのようなめざましい進歩の中で、私達医療従事者は日々の情報を取り入れて自己啓発に努めなければならぬと思っております。

折茂医院では医師二名、看護師五名、医療事務三名の計十名の職場です。医院には、さまざまな患者さんがおみえになります。

毎日、注射や電気治療に通院してみえる顔なじみの患者さんみれば、初めて当院を受診され病気に ついて不安な患者さんみえます。

私達スタッフはさまざまな症状の患者さんに接する時、優しく丁寧に目配り・気配りをし、適切な医療や看護を提供できるように努力して行きたいと思っております。これからもよろしくお願致します。



ショートステイ それいゆ

管理者 長瀬 千春

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
ショートステイでの毎日のレクリエーションやおやつ作り・季節行事は、楽しんで頂くだけでなく、機能訓練の為のリハビリ効果を期待した生活リハビリにもなっています。

今年生活リハビリの充実として、レクリエーションに運動的な動きを組み込み、散歩や歩行訓練等ご希望を取り入れ、ご自身の残存能力を活かして、楽しく満足してお帰り頂けるようにしたいと考えています。ご希望があれば、ご遠慮なくお話し下さい。

ご利用については、急な仏事・結婚式や旅行等日程が決まっている時、ご連絡ください。発熱や医療的処置があるため、他ではご利用できない方、お困りの時はいつでもご相談下さい。また、ショート中に受診も可能です。

ご自宅で
の生活が
続く事
の一端
として、
困った時
に行きたい
時のシヨ
ートステ
イであ
るよう、
今年も
どうぞ
よろしく
お願い
致します。



ケアプランセンター それいゆ

高野 管理者

1年を振り返り、介護者の皆様はよく頑張っていたと感心し、改めて感じます。私は、親の介護をここまでできるかしらと。また、利用者様の年齢に自分が達したときに、同じように凛としていられることができるだろうかと思わずにはいられません。生き続けることへの尊厳を大切にしたいです。

寺田 複雑な介護保険を1回で理解される方は少ないです。まして初めての介護生活が始まる時には不安が大きく、色々な事に悩まれることと思います。判りやすい説明をし、連絡・調整を確実にすることが、生活に繋がる事であると再認識し、丁寧な対応をしていきます。

森 新年を迎え新たな気持ちでこの1年を過ごせたらと思っております。自分の行動を振り返り、ケアマネジャーとして何が出来るか、未だに問い直し続ける日々です。人とのコミュニケーションを大切に笑顔で、お一人お一人に寄り添い、ほんの少し自分らしい生活のお手伝いをさせて頂けたらと思います。

鮎川 ケアマネとして働き始めて3年目になります。改めて利用者様の生活や人生に関わる仕事であることに責任を大きく感じております。少しでもお力になれるように日々学びながら、笑顔がたくさん見られる一年にしていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

牛丸 早いものでケアプランセンターにお世話になり1年半が経過しました。理事長はじめ諸先輩方のご指導のもと、失敗を繰り返しながら格闘の日々を送っておりますが、今年利用者様、ご家族様の立場にたったより良いプランが提供できるよう精進いたしますので、宜しくお願いいたします。



病児保育室 プティそれいゆ

管理者 白田 陽子

明けましておめでとうございます。
我が家では今年、初めて伊勢神宮にお参りし、清らかな気持ちで新年を迎えました。
帰りの車中、眠りかけているわが子の顔に、幼少ころの面影を探しながら、様々な思い出がよみがえってきました。

子育てに悩んだり、自信をなくした日々。泣いたり、怒ったり、はらはらしたり。でも子供の笑顔に癒され、励まされ、頑張っている姿に感動し、成長に驚き…。子供がもたらしてくれたものは計り知れず、かけがえない宝ものです。

今、家族が同じ時間を共有できることの幸せを実感し、我が家を巣立っていくまでのあと数年間を、慈しんで過ごしたいと改めて感じた新年のひと時でした。

私たちが病児保育室でお預かりしている子供たちは、その親さんにとつての、命より大切な宝ものです。宝ものを託していただけることに感謝し、スタッフ一同を引き締め、安全で信頼していただけの病児保育室の運営に、全力で取り組みます。仕事と育児の両立に、いきいき輝く働く親さんたちを、これからも応援していきます！

今年も一年、よろしくお祈りいたします。



『小規模多機能型居宅介護サービス』について

(仮称) シャロン・ド・それいゆ開設準備室管理者 牧田 功

介護保険にはなかなか聞き慣れない言葉が多く分かりにくい点もあると思います。たとえば訪問介護事業所…ヘルパーと言えば分かる方もいると思います。

☆『小規模多機能型居宅介護サービス』ってどのようなサービス？

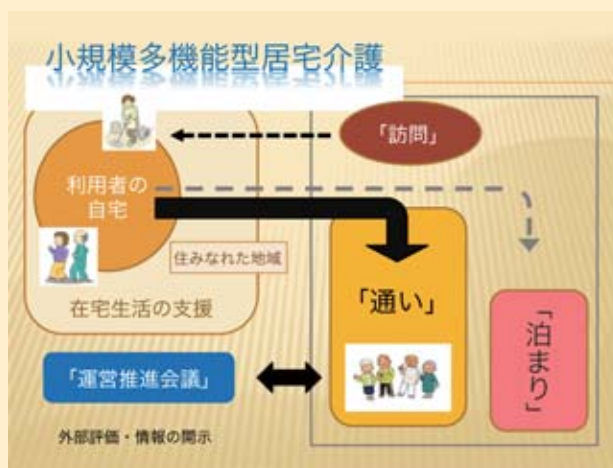
初めて聞かれるサービスだと思います。(医) 同仁会では「シャロン・ド・それいゆ」として今春オープンに向けて準備中です。平成18年度より制度化されましたが、高山市内では初めてとなるサービスです。

☆『高齢者が住みやすい地域は、誰にとっても住みやすい地域』という言葉をお聞きになられたことはあるでしょうか？『将来、認知症になってしまった時にどのような生活を送りたいですか?』不安なことも多いと思います。

○『小規模多機能居宅介護サービス』とは、住みなれた地域で安心して暮らせるように、そんな期待にこたえられるサービスです。

- ・基本は『通い』が中心です。自宅でのサービスが必要な利用者には『訪問』させていただきます。必要な時に『泊まっていたく事』も出来ます。顔なじみの職員が対応します。
- ・利用するには登録が必要となり、1事業所で登録できる人数は25人までです。
- ・費用は介護度により1カ月の定額制になっています。
- ・運営に関しては、地域の有識者や家族による運営推進会議が義務付けられています。会議を通し地域の人が集い、情報の交換や共有することにて「暮らしやすい地域」を共に考えていきます。

本当に誰もが望んでいる生活が実現出来るような介護保険のサービス利用を一緒に考えていきましょう。



(1カ月あたりの費用の目安)

	要介護度	自己負担(円)	+	各種加算	+	食費				
介護予防サービス	要支援1	4,469				+	各種加算	+	宿泊費	
	要支援2	7,995								
介護サービス	要介護1	11,430	+	各種加算	+					日常生活費
	要介護2	16,325								
	要介護3	23,286								
	要介護4	25,597								
	要介護5	28,120								

* 編集後記 *

新年あけましておめでとうございます。ちらほらと「ロウィルス」という言葉が聞こえてきている今日この頃ですが、皆さんの体調はいかがですか。

歳時記でもご紹介しましたが、十二月に高山高校三年生の生徒さんが慰問に来てくれました。サンタクロースの帽子をかぶり、ハンドベルのかわいらしい音や、きれいな歌声がフロアいっぱい響きわたっていました。その歌声を聴いて涙する利用者様がいきました。今までも舞踊や合唱など数多くの方々が慰問に来てくださいましたが、そのたびに利用者様の涙する姿を私は何度か目にしたことがあります。しかし、今回はその涙する利用者様を見た生徒さん数名が涙している姿を見かけました。その生徒さんがどう思ったのか私にはわかりませんが、私ももらい泣きをしてしまいうまくないなげ心がポツとした瞬間でした。

ある人から「過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる。変えるために、まずは小さなことから始めよう。」というアメリカのエリック・バーン博士の言葉を教えていただきました。これから自分の人生をどの道に進むのか選択し、挑戦していく学生さん達に今心ふさしい言葉だなあと感じると共に、私達にも心さわしい言葉だと思いました。過去の嬉しいことや辛かったことはもう変えられませんが、今やこれらがどんな人生になるのかは自分次第です。新しい年になったので、小さなことでも何か始めてみるのはいかがでしょうか。

(坂上)